

基本的考え方(素案)に対する意見聴取の概要、今後の取り組み

南信州広域連合事務局

1 意見聴取の概要

懇談の相手方	日時等	主な意見等
(公財)都市づくり パブリックデザイン センター 小澤一郎氏	11/5(月) 12:50 ~13:30	<ul style="list-style-type: none"> ・アフターコンベンションの充実が欠かせない。夜の交流などは重要だが、丘の上のまちなか機能は切り離せない。 ・リニア駅近傍にある必要はない。リニア駅や丘の上から物理的に離れていても、運用とネットワークがしっかりしていれば問題ない。 ・空き家等資源の棚卸が必要。民泊エリアマネジメントができると、裾野のサービス産業も活性化する。 ・中核となる人材を得て、情報発信のネットワーク組織作りが必要。 ・学輪 I I D A の先生方に意見を聞くことも必要。 ・地元まちづくり委員会、産業界、建築業界などのプレーヤー集団との情報共有が必要。
飯田信用金庫理事 長しんきん南信州 地域研究所	11/6(火) 13:00 ~14:00	<ul style="list-style-type: none"> ・施設を行政が設置するのは相当難しいと思う。民設民営のスポンサー企業を探すという発想の転換も必要。 ・豊橋市では、新アリーナ建設で民間募集を行った。建設・運営は事業者が全額負担で行い、市は半年分の利用枠分の利用料を30年間負担するというもの(年2億円)。 ・何をつくるか決まってからでは民間は手を上げにくい。民間の発想や自由度を活かせず旨味がない。 ・年間30日間興行できるなど核となるものは欲しい。そうでないと民間も乗ってこない。
上伊那広域連合 伊那市長ほか7市 町村理事者、上伊那 地域振興局長ほか	11/9(金) 14:10 ~14:50	<p>別紙資料により佐藤副管理者から説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊那谷らしいものとなると伝統芸能は独自性がある。上伊那にも豊富にある。世界への発信の場ともなる。 ・コンベンションは必要なのか。音楽会やコンサートなどは都会で聞ける。わざわざ田舎に来る人がいるのか疑問。
経営者協会上伊那・ 飯田支部懇談会	11/15(木) 16:00~	<p>佐藤副管理者が報告者</p> <p>「リニアを活かした地域づくり その視点と課題」</p>
飯田文化協会	11/19(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンベンション施設・屋内体育施設と文化・芸術ホールは別物であるべき。文化・芸術ホールは文化会館が受け持つ機能。 ・飯田文化会館は、飯田市民だけでなく郡市民のハレの場。 ・本物の芸術文化も、伝統芸能の発信も文化会館で行っている。新しい価値は既に創出している。 ・スポーツもでき、移動式の座席を持ったような複合施設では、文化・芸術施設としては使い勝手が悪い。 ・文化会館は、基本的には市民が使う。音響など質を求めている。事業性は困難だが、質を求めることによって興業的にも利用価値が出るかもしれない。 ・文化会館の検討を存続させ、コンベンション施設・屋内体育施設を諦める選択肢もあり得る。

<p>飯田市体育協会 下伊那郡体育協会</p>	<p>11/26(月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・何もしないは避けたい。 ・コンベンション施設は疑問。エス・バードで十分。信金の会議室もコンベンションで使ったという話を聞かない。 ・スポーツ施設で「暮らしの質」が向上するのが見えてこない。何かに特化しないと、あれもこれもではダメ。 ・バレー、バスケなどプロリーグを見せる観客席のある施設がない。ママさんバレーの大会も2会場でやっており、一カ所でできる施設があればよい。獅子舞フェスティバルなど雨天時に屋内イベントができる会場があればよい。 ・東京・名古屋の中間で充実したイベントを開催できる見込みがあれば大規模の施設もよいのでは。 ・パラスポーツ、バリアフリー施設は県下にはない。それもベースに一つの方向性を出せれば。 ・学校の部活だけではトップ選手育成は難しい。プロ観戦で触発されることやプロの指導を受けることは技術力向上に必要。バスケではプロの指導が受けられるのは年1回だけだが、中北信は機会が多い。 ・若者に残ってもらうには、インパクトのあるもの、トップアスリートを見られるスポーツアリーナは意義がある。25,000人の賛同もある。 ・皆も使えて、本物も見られる。体育施設のみの運営の話は難しい。体育だけでなく総合的・文化的なものも加えて大学の研究室やプロも来られるものを。
<p>(公財)南信州・飯田産業センター</p>	<p>12/11(火) AM 理事会 PM 評議員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・短時間ではあったが概要を説明し業界からの意見を求めた ・当地域には本物に触れる施設がない。リニアに向けて、地域住民が誇りに思える施設があるといい
<p>(株)VC長野クリエイティブスポーツ 笹川星哉社長 【VC長野トライデンツ】</p>	<p>12/19(水) 広域連合会議</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伊那谷には施設がないため、松本市総合体育館でホームゲームを開催している。地元で本物の試合を見せ、子供たちに夢を与えたい。 ・5,000人収容アリーナスタジアム構想を提案。(ゼビオアリーナ仙台のイメージ) ・バレーボール1部リーグは、3,000人収容アリーナが条件。バスケは5,000人。 ・3,000人だとスポーツ以外の活用が難しい。興業収益は5,000人から利益が生まれる。5,000人レベルだと、地方では叶わなかった一流スポーツ(芸能)が誘致できる。 ・メインアリーナは週末イベントに活用。サブアリーナは一般にも開放する。 ・建設は行政、管理会社に指定管理し、VC長野クリエイティブスポーツがスポーツプロモーターとしてアリーナスタジアムの運営、チーム運営、伊那谷のスポーツ施設統括センターの運営を受け持つ。

<p>(株)立飛ホールディングス 村山正道社長 【アリーナ立川立飛】</p>	<p>12/26(水) 現地視察</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アリーナ立川立飛を民設民営する企業 ・バスケットを中心とした3,000人収容の複合アリーナを整備。 ・立川にはバスケット文化があるため、Bリーグの準拠点として整備。様々なスポーツ、イベントにも活用。 ・民間アリーナビジネスを成功させたい。地域活性化、子供たちの健全育成に貢献したい。 ・管理運営は、月～木は(一財)多摩スポーツクラブに委託 ・サブアリーナ(多目的広場)は、利用者が自由に使えるようアスファルト舗装とし、敷物を変えることでテニス、フットサル、バスケット、将棋大会など多目的に使えるようにしている。
<p>クロススポーツマーケティング(株) 中村孝昭社長 【ゼビオアリーナ仙台】 【FLAT ARENA】(八戸)</p>	<p>1/5(土) 東洋大学講義、懇談</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・5,000人規模の多目的スポーツエンターテイメントアリーナを民設。 ・過剰な施設、低廉な利用料ではビジネスは成り立たない。稼働によるマイナス収益を造らない運営方針がポイント。 ・エンターテイメント性を高めるため、最新の演出機材設備は完備。 ・公設だと演出を前提にした興業はやりにくい。土足制限、コート上での飲食制限、暗転の制限など様々な制約がある。 ・木張りの床は利用が制限される。コンクリート土間ならば、機材搬入トラックが入り設置・撤去が早い。興業の回転率も高まり、ひいては稼働率も高まる。 ・八戸は、通年アイスリンクに床を張った日本初のアリーナ。平日は行政と連携し有効活用する。学校体育授業等(スケート)として年間120日を1億円で貸出。これにより行政のイニシャルコスト、ランニングコストが不要となる。 ・南信州は、リニアができれば外へ出ていく圧力の方が強いのでは。 ・80億円かけてアリーナを整備するよりも、8億円のネーチャー施設を8カ所に分散整備した方が効果が高い。 ・スポーツにメジャーマイナーはない。あらゆるスポーツにエンターテイメント性はある。
<p>(一財)日本経済研究所 大西達也氏</p>	<p>1/5(土) 東洋大学講座にて懇談</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼビオ等の専門業者との共同研究は有効。 ・大規模なコンサート等は、地元だからといってチケットが取れるわけではない。むしろ、地元の人は都会のコンサートに行くのでは。 ・初期負担、ランニングコストを考えると大規模なものは維持困難。 ・八戸のケースについては、行政側からの意見を聞くことも必要。 ・地元根付いていないものをゼロから始めるのは難しい。ただし、楽天のようにゼロから始めて根付いたものもある。仙台は、バスケットが盛んといっても競技人口はわずか。 ・強力なリーダーシップが必要。当地域にはあるはずだ。
<p>リニアカフェ (まちづくりを考える高校生のサロン)</p>	<p>時期未定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・11月に一度参加して、意見交換している ・今後、基本的考え方を説明して検討していただく予定

(株)立飛ホールディングス 村山正道社長	3/12(火) 13:00~	<ul style="list-style-type: none"> ・アリーナ立川立飛に関するプレゼンテーションを依頼 ・アリーナ設立の経過、施設の建設や運営コスト、利用の実態等について説明をいただく予定 ・基本的考え方を事前に送付し、意見交換の予定
-------------------------	-------------------	---

2 市町村からの意見の整理

- ・別紙参照

3 今後の取り組み

- ・基本的考え方（案）の整理
- ・検討委員会の設置